



古代歴史文化に関する優れた書籍を表彰

「第8回古代歴史文化賞」 受賞作の決定について

「古代歴史文化賞」は、平成25年に創設された賞で、奈良県と島根県・三重県・和歌山県・宮崎県が連携して古代歴史文化に関する書籍を表彰することを通して、国民の歴史文化への関心を高め、豊かな歴史文化に恵まれた各県の交流人口の増加を促すとともに、各県民の郷土への自信及び誇りを醸成することを目的としています。

この度、「第8回古代歴史文化賞」の大賞及び優秀作品賞が下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

また、今年度はその他にも、古代の歴史文化に関する人々の関心を高めた功績に対する特別賞も決定しましたのでお知らせします。

記

<古代歴史文化賞 大賞>

「顔の考古学 異形の精神史」／吉川弘文館

著者：設楽 博己（したら・ひろみ）1956年群馬県生まれ

<古代歴史文化賞 優秀作品賞>

「気候適応の日本史 人新世をのりこえる視点」／吉川弘文館

著者：中塚 武（なかつか・たけし）1963年奈良県生まれ

「戸籍が語る古代の家族」／吉川弘文館

著者：今津 勝紀（いまづ・かつのり）1963年東京都生まれ

「人事の古代史—律令官人制からみた古代日本」／筑摩書房

著者：十川 陽一（そがわ・よういち）1980年千葉県生まれ

「万葉集に会う」／岩波書店

著者：大谷 雅夫（おおたに・まさお）1951年大阪府生まれ

<古代歴史文化賞 特別賞>

早川和子（はやかわ・かずこ）考古イラストレーター 1953年宮崎県生まれ